

2025年01月07日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【新しい1年(2025年)】

明けましておめでとうございます。

新しい1年が始まりました。

今年(2025年)の外国為替市場を考えるならば、第一に、トランプ米国大統領の再就任でしょう。

ウクライナ情勢と中東情勢が、現在、戦闘状態にあります。

トランプ新政権が、これらの紛争にどのように対応するのか、トランプ氏の大統領就任後に明らかになるのだろう、と考えます。

大きく変化する可能性もあり得る、と考えます。

「地政学的リスク」が、外国為替市場で重要なファクターになる可能性がある、ということです。

+++++

そして、トランプ新政権が、中国に対して、特に、貿易問題に関して、どのように対応するのか、外国為替市場に大きく影響を与えるだろう、と考えます。

日米関係では、年明け早々に、バイデン現大統領によって、日本製鉄のUSスチール買収阻止が発表されました。

トランプ新政権もこの買収阻止の政策を支持する、と考えます。

さらに、トランプ新政権は、米国第一主義を貫くと予想されます。

だから、日米関係でも、日本に対して強い要求をしてくるだろう、と予測されます。

+++++

+++++

一方で、現在の日本を見ると、はっきり言って強い産業は無い、と考えます。

自動車産業でさえも、世界に対する往年の影響力は無い、と考えます。

自動車産業がそうであるのならば、それ以外の日本の産業が、世界経済の中で、どの程度なのかは、推して知るべし、と考えます。

世界経済における日本の力は、相対的に低下し続けている、と考えます。

日本の経済力低下の原因・要因の分析は重要ですが、それが何であれ、現時点で、好転することは無い、と考えます。

だから、まだ、日本の国力の低下は続いている、と判断するのが妥当と考えます。

日本の力の復帰回復が起こるとするならば、国力低下の原因・要因を明らかにし、そして、それにまともに対処する心構えが整った時、と考えます。

現在の日本人の大多数は、日本の国力の低下に関して、ほとんど無関心であり、全く危機感が無い、と見受けられます。

個人的な感想ですが、明治維新以降に、海外に追いつけ追い越せと努力して築いた国力も、そして、第二次世界大戦後に、改めて努力し蓄えた力も、ほとんど使い果たした、と感じています。

多くの日本人が、謙虚にきちんと現状分析をして、相対的に国力が低下している事実を認識し、危機感を持たなければ、この状態は続くに違いない、と危惧しています。

+++++

そういった意味で、今年（2025年）は「バラ色」ではない、と考えます。

もっとはっきり言うならば、今年（2025年）は難しい1年になるのだろう、と考えています。

+++++

+++++

（2025年01月07日東京時間15:00記述）